

入学試験問題

国 語

100点満点（50分）

（注意）

1. 問題冊子及び解答用紙は指示があるまで開かないこと
2. 問題は一～四、解答用紙は別紙
3. 試験開始後、問題冊子表紙・解答用紙に受験番号を記入すること
4. 試験終了後、問題冊子・解答用紙ともに回収

受 験 番 号

一、次の文章を読んで後の問いに答えなさい（字数指定問題において、句読点や「」は字数に含むものとする）。

グローバル化に対応するために、もともと日本人も自己主張ができるようにならなければいけないと言われ、^①自己主張が推奨されたり、プレゼンテーションのスキルを鍛える授業が導入されたりしている。

でも、そうした動きは、悪くすると思考停止を招くことにつながりかねない。このようなことを言っても、にわかには理解できないという人も少なくないかもしれない。

A、まずは^②私たち日本人が、自己主張が苦手なのはなぜかということを考えてみたい。海外の人たちの強烈な自己主張に圧倒された経験がある人は少なくないはずだ。

店員のアルバイトをしている学生たちも、客の要求にこたえられない場合、相手が日本人だとすぐに納得してもらえりけど、^③外国人だとしつこく自己主張してくるので手を焼くと言ったりする。**【ア】**

語学の短期留学をした学生たちも、いろんな国の学生が交じっていたが、どの国の学生も積極的に質問したり、自分の意見を自信たっぷりに述べたりするのに驚いたという。**B**、自分の解答が間違っているにもかかわらず認めずムキになって食い下がるのにも驚き呆れる^{あき}ことがあったという学生も少なくない。**【イ】**

そんな自己主張の強烈な海外勢とやり合っていかなければならないのだから、大変な時代になったと思う人が多いと思う。でも、なぜ海外の人たちは、そんなに自信たっぷりに意見を言ったり、遠慮なしに質問したりできるのだろうか。**【ウ】**

日本人が堂々と自分の意見を述べることはできないのは、相手の気持ちを気にして自己中心的に振る舞えないということに加えて、日本文化においては認知的複雑性の高さに価値が置かれてきたからではないか。そのように私は考える。

認知的複雑性というのは、ものごとをさまざまな視点から見ることができるとかどうかということである。

日本人が意見を主張するのが苦手だといっても、けっして自分の意見がないわけではないことが多い。人の意見と自分の考えが違う場合も、人の意見を聞いていると、その人の立場もわかるし、そう言いたくなる気持ちもわかるし、そういう視点から見ればそういう理屈も成り立つように感じられるため、反論しにくくなるのである。

自分の意見を述べる際も、それが絶対的なものとは思えず、別の視点から見れば違う理屈もあるだろうと思うため、自信たっぷりに述べることはできないのだ。

認知的複雑性が高いと、さまざまな視点からものごとを見ることができ、とりあえず自分なりの意見があつたとしても、もっと違う見方もあるかもしれないと思うから、自信満々な自己主張がしにくいのである。④その結果、さまざまな視点に想像力を働かせ、思考が深まっていく。

—中略—

一方、欧米をはじめ多くの国々の人たちが、どんなに偏った意見でも、思慮の浅い意見でも、自信たっぷりに主張できるのは、自分を押し出し自信ありげに振る舞っていないと生き残れない文化で育ってきているため、認知的複雑性が低く、自分の視点に凝り固まってしまうからではないか。自分以外のさまざまな視点から検討する心の習慣がないため、自信満々な自己主張が平気でできてしまう。【エ】

そうした視点から自信たっぷりに自分勝手な意見をまくしたてる人を見ると、まさに薄っぺらいのに自信満々な姿に見えてくる。そんな姿に抱く必要などないし、その真似をしようとして視野を狭め、偏った意見に凝り固まる必要もないはずだ。それこそ思考停止に陥ってしまう。【オ】

C 自分なりの考えを練り上げることは大切だ。だが、そのためにも自分の未熟な視点に凝り固まらず、あらゆる視点に心を開いておくことが大切であろう。そこで、学校教育においては、プレゼンテーションのスキルのような表面的な技を学ぶのではなく、もっと思考を深めるため、さまざまな視点に触れ、これまでの自分になかった視点を取り込むことが重要な課題となってくる。

その意味においては、発信力を重視するのではなく、むしろ吸収力を重視する教育が求められるのではないだろうか。⑤そこが逆になると、薄っぺらいのに自信満々な深みのない残念な人間、まさに思考停止状態の人間を量産してしまふことが危惧される。

自己主張やプレゼンテーションなど、発信ばかりを重視する教育のなかで衰弱しつつあるのが、他者の視点に対する想像力である。

ネット上で他人を叩く言動が目立つが、どうも他人に対する寛容さを持ち合わせない人が増えているように思われる。何かにつけて自分の視点を⑥絶対化し、自分と違う考え方や行動パターンを取る人に対して、

「あり得ない！」

「許せない！」

と糾弾する。

でも、そのように⑥い感を振りかざして他人を糾弾する人の言動を見ると、あまりに一方的で、相手の視点に対する想像力が乏しすぎると思わざるを得ない。自分の視点に凝り固まっており、自分と違う視点もあるということがわからないのだろう。

自分の視点を絶対化せず、相手の視点に想像力を働かせることができれば、それなりの事情があつてのことと理解することができ、一方的に糾弾するようないことにはならないだろうが、どうも他者の視点を想像する力が衰えてきているようだ。

(榎本博明『思考停止という病理』より)

問一、
A C にあてはまる語として最も適当なものを次のア～エより選び、それぞれ記号で答えなさい (同じ記号は複数回使用してはならない)。

ア、さらには イ、そこで ウ、むしろ エ、もちろん

問二、
あ い にあてはまる語として最も適当なものを次のア～エより選び、それぞれ記号で答えなさい (同じ記号は複数回使用してはならない)。

ア、違和 イ、正義 ウ、優越 エ、劣等

問三、本文中には次の一文が抜けている。この一文が入る最も適当な箇所を本文中の「ア」「イ」「ウ」「エ」より選び、記号で答えなさい。

反対に、なぜ私たち日本人は、堂々と意見を述べることができず、質問するにも躊躇ちゅうちよしてしまうのだろうか。

問四、——線部①「自己主張が推奨されたり、プレゼンテーションのスキルを鍛える授業が導入されたりしている」とあるが、「自己主張が推奨されたり、プレゼンテーションのスキルを鍛える授業を導入すると、どのような力が弱まると筆者は考えているか。本文中より十一字で抜き出して答えなさい。

問五、——線部②「私たち日本人が、自己主張が苦手なのはなぜかということを考えてみたい」とあるが、筆者はその理由をなぜだと考えているか。その理由が述べられている六十字以上六十五字以内の箇所を本文中より抜き出して、はじめと終わりの四字を答えなさい。

問六、——線部③「外国人だとしつこく自己主張してくる」とあるが、その理由として適当でないものを次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

ア、自分以外の視点から検討しようとする心の習慣がなくて自分の視点を絶対化しているから。

イ、自分を押し出して自信ありげに振る舞っていないと生き残れない文化で育ってきているから。

ウ、自己主張が推奨されたり、プレゼンテーションのスキルを鍛える授業が導入されているから。

エ、ものごとをさまざまな視点から見る力が低く、自分の視点に凝り固まってしまっているから。

問七、——線部④「その結果」とあるが、それは何の結果か。その説明として最も適当なものを次のア～エより選び、記号で答えなさい。

ア、ものごとをさまざまな視点から捉えた結果。

イ、自分なりの意見がひとまずまとまった結果。

ウ、違う見方もあるかもしれないと思った結果。

エ、自信満々な自己主張ができないと感じた結果。

問八、——線部⑤「そこが逆になる」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適当なものを次のア～エより選び、記号で答えなさい。

ア、発信力を軽視して、むしろ吸収力を重視する教育をすること。

イ、発信力を重視して、むしろ吸収力を軽視する教育をすること。

ウ、発信力を軽視するだけでなく、吸収力も軽視する教育をすること。

エ、発信力を重視するだけでなく、吸収力も重視する教育をすること。

問九、——線部⑥「絶対化」とあるが、その対義語を漢字で答えなさい。

問十、筆者は本文の中でどのような教育が必要だと述べているか。本文中の言葉を用いて三十五字以上四十五字以内で説明しなさい。

二、次の古文を読んで後の問いに答えなさい。

(字数指定問題において、句読点や記号は字数に含むものとする。また、設問の都合上一部本文を改めたところがある。)

今は昔、唐もろこしに莊子さうじといふ人ありけり。家いみじう貧しくて、今日の食物絶えぬ。隣に監河侯かんかこうといふ人ありけり。それがもとへ※今日食ふべき^①粟あはを乞ふ。河侯がいはいはく、「今日五日ありて※おはせよ。千両の金を得んとす。それを※奉らん。いかでか※やんごとなき人に、今日※参るばかりの粟をば奉らん。返す返すおのが^②恥かへなるべし」といへば、莊子のいはく、「昨日道を※まかりしに、跡に呼ばふ声あり。かへりみれば人なし。ただ車の輪跡わあとのくぼみたる所にたまりたる少水に、鮒ふな一つ※ふためく。何ぞの鮒にかあらんと」^③思おもひて寄りてみれば、少しばかりの水にいみじう^④おほきなる鮒あり。『何ぞの鮒ぞ』と^⑤問へば、鮒のいはく、『我は※河伯神かはくしんの使に、※江湖かうこへ行くなり。それが飛びそこなひて、この溝に落ち入りたるなり。喉渴のどき死なんとす。我を助けよと^⑥思おもひて呼びつるなり』といふ。^⑦答へていはく、『われ今二三日ありて、江湖といふ所に^⑧遊びしに行かんとす。そこにもて行きて放さん』といふに、^⑨魚のいはく、さらに^⑩それまでえ待つまじ。ただ今日※一提ひとてばかりの水をもて喉をうるへよといひしかば、さてなん助け^⑪。』^⑫鮒のいひし事、我が身に知りぬ。さらに今日の命、もの食はずは生くべからず。後の千の金こがねさらに益やくなし』とぞいひける。それより、「後の千金せんきん」といふ事※名誉せり。

語注

〔宇治拾遺物語〕卷第十五・十一より

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| ※ 今日食ふべき粟……今日食べるための粟。 | ※ おはせよ……おいでください。 |
| ※ 奉らん……差し上げましょう。 | ※ やんごとなき人……賢く貴い人。 |
| ※ 参る……召し上がる。 | ※ まかりしに……通つたら。 |
| ※ ふためく……ばたばたと苦しそうに跳ねている。 | ※ 河伯神……河の神。 |
| ※ 江湖……大河と湖。 | ※ 一提ばかりの……提(容器)一杯ほどの。 |
| ※ 名誉せり……有名になった。 | |

問一、——線部①「れう」、②「おほきなる」をそれぞれ現代かなづかいに直しなさい。

問二、——線部⑦⑧の中より動作の主語が異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア、思ひ イ、問へ ウ、思ひ エ、答へ

問三、——線部①「恥なるべし」は「恥となりましょう」という意味だが、どういうことが「恥」なのか。その説明として最も適当なものを次のア～エより選び、記号で答えなさい。

ア、莊子のような賢く貴い人が、貧しい暮らしをして隣人の助け無しでは生きていくことができないこと。

イ、河侯が、莊子のような賢く貴い人に後日手に入るお金を渡さずに今日食べるだけの食料を渡すこと。

ウ、河侯のような賢く貴い人が、千両の金を得るために莊子に食べ物売りつけようとしていること。

エ、貧しい莊子が、河侯のような賢く貴い人と親しくなるためにわざわざ食べ物をもらいに来たこと。

問四、——線部②「遊びしに行かんとす」、④「それまでえ待つまじ」の本文中での意味として最も適当なものを次のア～エより選び、それぞれ記号で答えなさい。

- | | |
|---|--|
| ② | ④ |
| ア、遊びに行くところだ。
イ、遊びに行くはずだった。
ウ、遊びに行かないつもりだ。
エ、遊びに行かないのか。 | ア、それまで本当に待つつもりですか。
イ、それまで待つても無駄でしょう。
ウ、それまで待つことはできそうもない。
エ、それまで待たなければなりません。 |

問五、——線部③「魚のいはく」とあるが、この魚の発言に当たる部分を本文中より抜き出して、終わりの四字を答えなさい。

問六、 には過去の助動詞「き」を活用させた語が入る。あとの助動詞の活用表を参考にして、空欄に入れる最も適当なものを次のア～エより選び、記号で答えなさい。

ア、せ イ、き ウ、し エ、しか

基本形	き
未然形	せ
連用形	○
終止形	き
連体形	し
已然形	しか
命令形	○

問七、——線部⑤「鮒のいひし事、我が身に知りぬ」とは「鮒が言っていたことをわが身で思い知った」という意味であるが、莊子は監河侯に鮒の話を通してどのようなことを伝えたかったのか。二十字以上三十字以内で説明しなさい。

問八、この話の教訓の説明として最も適当なものを次のア～エより選び、記号で答えなさい。

- ア、困っているときは大金よりも、食料や水のほうがよっぽど価値があるということ。
- イ、困っているときはお互い助け合い、後で余裕ができてから返せばいいということ。
- ウ、必要な時に間に合わない援助は、たとえ大金であっても役立たないということ。
- エ、感謝をすることができない人には、援助をしても損をするだけだということ。

三、次の文章を読んで後の問いに答えなさい（解答では同じ記号を複数回使用してもよいこととする）。

三四郎が動く東京のまん中に閉じ込め^㉑られて、一人でふさぎこんでいるうちに、※国元の母から手紙が^㉒来た。東京で受け取った最初のものである。
②見るといろいろ書いてある。まず今年は豊作でめでたいというところから始まって、からだを大事にしなくてはいけないという注意があつて、東京の者はみんな利口で人が悪いから用心しろと書いて、※学資は毎月月末に届くようにするから^㉓安心しろとあつて、勝田^{かつた}の政^{まさ}さんの従弟^{いとこ}に当る人が大学校を卒業し^㉔て、理科大学とかに出ているそうだから、尋ねて行って、万事よろしく頼むがいいで結んである。肝心の名前を忘れたとみえて、欄外というように
なところに野々宮宗八^{ののみやそうはち}どのと書いてあつた。この欄外にはそのほか二、三件ある。※作の※青馬^{あお}が急病で死んだんで、作は大弱りである。三輪^{みわ}田^たのお光^{みつ}さんが鮎^{あゆ}をくれたけれども、東京へ送ると途中で腐^うつてしまうから、家内^{うち}で食べてしまった、等である。

三四郎はこの手紙を見て、なんだか古ぼけた昔から届いたような気がした。母にはすまないが、こんなものを^㉕読^よんでいる暇はないとまで考えた。それにもかかわらず繰り返し返して二へん読んだ。要するに自分が^㉖もし現実世界と接触しているならば、今のところ母よりほかに^㉗ないの^㉘だろう。^㉙その母は古
い人で古いなかにおる。そのほかには汽車の中で乗り合わせた女がいる。あれは現実世界の稲妻である。接触したというには、あまりに短くつかつあ
まりに鋭すぎた。——三四郎は母の言いつけどおり野々宮宗八を^㉚尋^{たず}ねることにした。

語注

（夏目漱石『三四郎』より）

※国元…自分の生まれた土地。故郷。実家のあるところ。

※学資…学問をするのに要する費用。

※作…人名。

※青馬…青毛の馬。

問一、――線部①～⑤について、その単語の品詞名を次のア～コより選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア、名詞 イ、動詞 ウ、形容詞 エ、形容動詞 オ、副詞

カ、連体詞 キ、接続詞 ク、感動詞 ケ、助動詞 コ、助詞

問二、――線部①～⑤の動詞について、その活用の種類を次のア～オより選び、それぞれ記号で答えなさい。また、その活用形もそれぞれ正しい漢字で答えなさい。

ア、五段活用 イ、上一段活用 ウ、下一段活用 エ、カ行変格活用 オ、サ行変格活用

四、次の①～⑩について、――線部のカタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで答えなさい（なお、送りがなは不要とする）。

- ① 選挙でダイシュウの支持を得て当選する。
- ② 予定通りに試験をジッシンする。
- ③ 相手の権利をシンガイしてはならない。
- ④ 人口の減少がイチジルしい。
- ⑤ 新しい企画にタズサわる。
- ⑥ 彼はその計画に執着していた。
- ⑦ 先生は私の意見を肯定してくれた。
- ⑧ 山頂から眺望を楽しむ。
- ⑨ 危険を冒して挑戦する。
- ⑩ 暦の上では春だが、寒い日が続いている。

――以下余白――